

北九州市
CITY OF KITAKYUSHU

あかりで紡ぐ
極上の居心地



発行 平成29年10月 No.1715011B

問合せ 北九州市建築都市局総務部都市景観課 〒803-8501福岡県北九州市小倉北区域内1番1号

Tel.093-582-2595 Fax.093-582-2503

小倉都心地区夜間景観ガイドライン〔案〕

目次

はじめに	02
第1章 夜間景観づくりの目標	04
1-1 小倉都心地区の魅力を知る	06
第2章 まちの魅力を活かす夜間景観照明	08
2-1 夜間景観をつくる3つの視点	08
2-2 点・線・面からなる夜間景観の考え方	09
2-3 小倉都心地区のあかりの考え方(点・線・面)	10
第3章 魅力的な夜間景観のつくり方	12
3-1 小倉駅新幹線口周辺エリア	13
3-2 平和通東側周辺エリア	14
3-3 旦過・古船場町周辺エリア	15
3-4 浅野二丁目周辺エリア	16
3-5 平和通西側周辺エリア	17
3-6 水辺周辺エリア	18
3-7 室町周辺エリア	19
3-8 勝山・小倉城周辺エリア	20
3-9 小倉都心地区周辺エリア	21
第4章 ケーススタディ	22
4-1 小倉駅	24
4-2 浅香通り	26
4-3 鷗外通り	28
4-4 堺町公園	30
4-5 みかげ通り	32
4-6 室町	34
4-7 鷗外橋	36
4-8 紫川	38
4-9 小倉城	40
第5章 魅力ある夜間景観づくりの進め方	42
第6章 あかりの基礎知識	44
6-1 照明器具の種類	44
6-2 色温度	46
6-3 色偏差	46
6-4 演色性	47
6-5 反射率	47
6-6 用語説明	47
参考資料	48

はじめに

近い将来「北九州市に観光に行こう！」と言われる観光都市になることを目指す北九州市では、観光振興プランの取り組みにより、国内外からの多くの観光客が訪れる街になりました。

中でも、小倉都心地区には、小倉城や旦過市場、ポップカルチャーの発信地など多くの観光資源があり、平成 29 年 3 月のミクニワールドスタジアム北九州のオープンにより、今後、更に多くの来訪者が訪れることが期待されています。

小倉都心地区への来訪者が増加し、「昼間の観光だけを楽しみ帰るのはもったいない、昼間の観光の後に魅力的な夜の小倉都心地区も楽しんでほしい」という声が高まる中、小倉都心地区を訪れる人々が夜の街の思い出を持ち帰ることが出来るようになるためには、魅力ある夜間景観づくりはとても重要な役割を担っています。

一方で、小倉都心地区に暮らす人々にとっても魅力的な夜間景観はとても重要です。照明は街の安全を確保し、スムーズな移動など快適な日常生活を送れるよう考えられています。

「小倉都心地区夜間景観ガイドライン」では、夜間における照明計画について単なる明るさの環境づくりだけを行うのではなく、小倉都心地区の特徴を活かした芸術的観点などを取り入れることで、人の感性に訴えかける、あかりによるまちの魅力づくりを提案します。

そのため、このガイドラインでは①これから照明計画を実践する場合の「着目すべき視点」、②民間事業者の方が「ライトアップを行う際のヒントや実践的で具体的な手法例」、③より魅力的なライトアップを検討するための「支援体制の紹介」の3つについて、ご紹介しています。

小倉都心地区の夜間景観を形成している様々なヒト・モノと一緒に、なっかってかたちづくる、「あかり」によるまちの魅力づくり。それは、「暮らす人」と「訪れる人」をともに想うまちづくりのはじまりでもあります。



あかりで紡ぐ
極上の居心地

小倉都心地区は、気軽に散策できる範囲の中に、都市的な施設と緑豊かな自然、産業を支える工場群と生活を支える市場、歴史を感じさせる街並みと現代の暮らしを支える街並みが存在し、いくつもの街を旅したような、様々な特徴に触れることができる。

“あかり”はその街の特徴を鮮やかな色彩、賑わいや落ち着き、風情や面白みなどで彩り、視対象の魅力を増幅させる。その“あかり”が紡ぐ夜間景観は、来訪者を温かく迎え、街なかへと誘い、その光景で魅了する。

何度もそこを訪れたい。目指すのは、極上の居心地。

1-1 小倉都心地区の魅力を知る

夜間景観を考えるにあたっては、小倉都心地区の街の特徴を整理し、理解することが大切です。そこから見えてくる固有の魅力をあかりでどのように彩るのかを探っていきます。

交通

九州の玄関口として多くの来訪者を迎えられる小倉駅。小倉ターミナルビルから北九州モノレールが伸びる様は、初めて訪れた人を驚かせる感動の光景です。

水辺

自然をテーマにした個性豊かな表情を持つ10本の橋が架かる紫川。都市と自然が調和する水辺は市民の憩いのスポットであり、安全で創造的な水景都市です。

海辺

小倉駅新幹線口周辺には様々な施設が集まっています。躍動感溢れる景色やスポーツ施設、癒しと安らぎの緑地や海面、賑わいを生む大規模施設など全てに強いエネルギーを感じます。

商業施設

ファッションやグルメ、劇場、映画館、美術館、メディアや大学などが入った大型複合施設では、ファッショントレンドや文化、芸術を小倉の街に発信しています。

文化

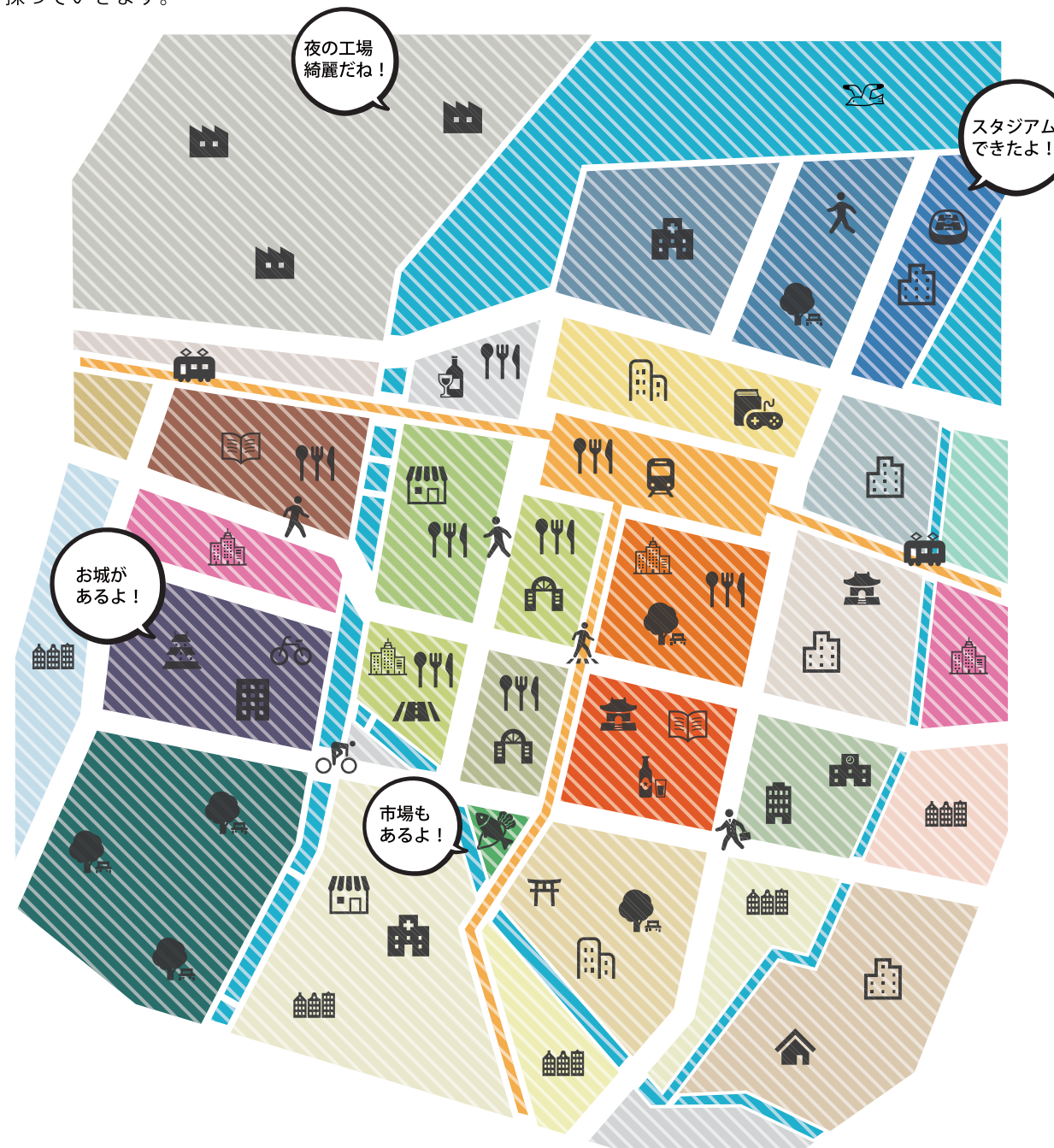
旧長崎街道の起点を有する城下町小倉の名残を随所を感じる街。勝山通り沿いにある小倉県が設置された際の県庁跡も、歴史や文化を今に伝えます。

歴史

小倉の街のシンボル、小倉城。唐造りの天守閣をはじめ大名の庭園や武家の書院など城下町の風情を感じられます。春には桜、秋には紅葉など豊かな自然と共に歴史情緒を楽しむことができます。

繁華街

小倉駅を中心に城下町の面影を残す町割の筋が交錯するエリアには、味のある飲食店や商店が点在しています。昼も夜もそれぞれの魅力で多くの人を引き付けています。



ストリート

整備された幹線道路や味のある生活道路。異なる特徴を持つエリアを繋ぎ、小倉都心地区回遊の軸線となる道路など、道路の表情は様々です。

公園

大小さまざまな公園は、都心部のオアシス空間として多くの市民に愛され、年齢を問わず憩いの場となり、地元ならではのイベントも開催されています。

アーケード

「雨が降らないまち」として全国ではじめてアーケードがつけられた魚町銀天街。ソウルフードから雑貨までずらりと並び、地元の活気ある雰囲気を楽しめます。

市場

地元産の海産物や野菜、惣菜などが所狭しと並び、昭和のムード漂う市場は市民のみならず観光客が訪れる定番スポットにもなっています。

工場の見える景観

日本の近代化をリードしてきた「ものづくりの街」北九州市。ベイエリアから見る事ができる工場の姿は市民にとっては馴染み深く来訪者にとっては非日常の世界観を覗かせます。

ポップカルチャー

漫画やアニメ、ゲーム、アイドルなどのポップカルチャーを世界に発信するため様々なイベントが開催されています。

祭 お祭り

150万人が訪れる「わっしょい百万夏まつり」や、全国的に珍しい両面打ち太鼓の無形民族文化財「小倉祇園太鼓」はまち全体が熱気に包まれる小倉の夏の風物詩です。

特徴に見る小倉都心地区の魅力

小倉都心地区は、徒歩でも移動可能な範囲に都会的な施設や緑豊かな自然、近代化の象徴である工場や生活を支える川や海、歴史的まちなみや現代の暮らしを支える街並みなど、多くの要素が、ぎゅっと詰まった、コンパクトで多彩なまちです。

散策するだけで、いくつもの街を旅したような、様々な景色を味わうことができます。

JR小倉駅は、小倉ターミナルビルから伸びるモノレールが「見る人を感動させる近代的な景観」を形成し、また駅前広場のバスやタクシーの「交通結節機能」を有して、小倉都心地区の一翼を担っています。

街なかの開けた空間に「憩いの場」として機能する公園や川も、小倉都心地区の大きな特徴の一つです。更に、城下町の名残を感じさせる町割りや、往来する人々でにぎわうアーケード街、市場の活気や祭文化など、「人情味あふれる小倉のまちの様々な表情」が、多彩なまちの重要な構成要素なのです。

通り一本でまちの表情が一変し、期待と驚きの連続が更にわくわく感を生み出すまち。

その面白さや味わいこそが、小倉都心地区の最大の魅力だと考えます。

第2章 まちの魅力を活かす夜間景観照明

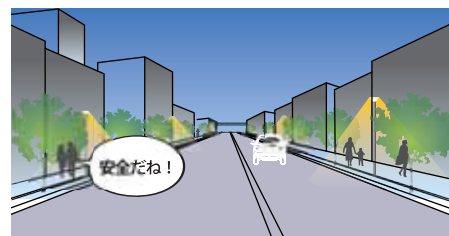
2-1 夜間景観をつくる3つの視点

小倉都心地区は、城下町を礎に様々な都市的機能が集積しながら公園や海、川などの豊かな自然があります。小倉城など歴史の風情漂う建造物、生活の活気溢れる市場や商店街、産業を支えるダイナミックな工場群などの景観が共存する特徴を備えています。今、そんな観光スポットが多い小倉都心地区を訪れる国内外からの来訪者が増加しています。

これからの小倉都心地区の夜間景観づくりでは、暮らす人々が快適に生活するためのあかりとともに、多くの来訪者が夜の街の散策や食を楽しみ、夜景に魅了されるような、街並みの魅力を感じることができる夜間景観であることが大切です。小倉都心地区夜間景観ガイドラインではこれからの夜間景観づくりに必要な3つの視点を提示します。

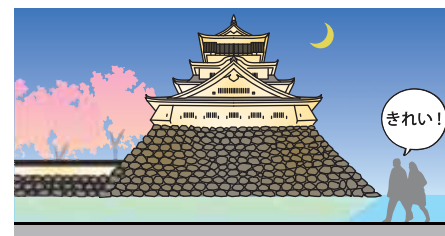
1 「おもてなし」の視点を持つ

利便性 「暮らす人」の視点



生活のしやすさ・安全で安心な環境・スムーズな移動

おもてなし 「訪れる人」の視点



まちの風土・歴史や文化・季節や時間

+

きれい!

2 「機能」と「演出」のバランスを考える

機能照明

安全・快適・効率



演出照明

演出・雰囲気・文化

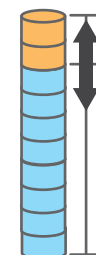


考え方の POINT

地域の特徴に応じて機能照明と演出照明の**バランスを決定**することが重要。

演出照明

機能照明



幹線道路

交通量の多い幹線道路では安全性を重視し機能照明の比重を高く!

例えば

3 「光の多面性」に配慮する

考え方の POINT

芸術、技術、経済
全ての観点に配慮した照明計画を行います。

芸術的観点

身体的、心理的に感性に訴えかける力



技術的観点

もの見え方、見せ方などの様々な照明技術や手法



経済的観点

照明器具や光源の効率化、無駄のない配置計画などの経済的配慮



2-2 点、線、面からなる夜間景観の考え方

照明は、計画的に使うことで見せたいものをより魅力的で印象的に見せ、まちの個性や風土、歴史、文化を感じるまちづくりへとつなげることができます。照明で、建築物やモニュメントを美しく照らすことで「点」のあかりをつくります。照らされた「点」が連続し、また足元の適度な明るさを確保したり目標物を照らしたりすることで人を誘導する「線」をつくります。そして、個々の点や線は折り重なり、「面」としてまち全体の魅力的な夜間景観を形成します。この、点、線、面の視点から小倉都心地区の魅力的な景観資源を見つけ、夜間景観づくりを行います。

点 夜間景観の重要な資源となるあかり

店舗やオフィスビル、サイン、モニュメント、橋梁、交差点、駅、歴史的建造物などを効果的に照らすことで、個々の魅力を増幅させることができ、魅力的な夜間景観の資源になります。

考え方の POINT

小倉都心地区の景観を形成している**様々な民間施設、公共施設が「点」の夜間景観資源**です。



線 通りの一体感を生み回遊性を向上させるあかり

魅力的に照らされた店舗やオフィスビル等の連続した「点」のあかりは線を形成します。統一感のある「点」のあかりが形成する線は、通りの雰囲気を演出することができます。

また、主要な道路、河川などの連続的な照明のあかりが形成する「線」は、まちの輪郭を明確にします。線を照らすことで、通りの一体感が生まれ回遊性も向上します。



面 点、線の融合によるまちのあかり

地域が持つ魅力を、点、線により表現し、それらを融合させることで面としての夜間景観を向上します。

考え方の POINT

地域の特徴を活かす、エリア毎の夜間景観のテーマを設け、地域の魅力に包まれた居心地の良い夜間景観演出を支援します。

